

# 授業概要

分野	学科目	2年前期・後期		90分講義 15 回
専門分野Ⅱ	小児看護学方法論Ⅲ	30 時間	1 単位	
授業科目		講師名		
小児疾患、小児の事例展開		医師、専任教員(実務経験者)		
科目 目標	1.小児に特有な疾患とその治療を理解する。 2.健康問題をもつ小児の主な事例の展開方法がわかる。			
	回数	項目	内容	
科目 内容	1	小児の疾患と治療	1.遺伝子・染色体の異常と形態異常 1)遺伝性疾患、先天性代謝異常とマススクリーニング、染色体異常症 2.新生児の特徴と疾患 2)メレナ、新生児仮死、呼吸窮迫症候群、胎便吸引症候群、低出生体重児	
	2		3.消化器疾患 3)肥厚性幽門狭窄症ヒルシュスプリング、腸重積、乳児下痢症、胆道閉鎖症、鼠径ヘルニア	
	3		4.内分泌・代謝疾患 1)糖尿病	
	4		5.神経・筋疾患 1)てんかん、熱性痙攣、脳性麻痺、髄膜炎、水頭症、脳炎	
	5		6.腎尿路疾患 1)急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群	
	6		7.呼吸器疾患 1)しょう紅熱、百日咳、水痘、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、ホリオ、突発性発疹	
	7		8.アレルギー疾患 1)痙性クループ、急性細気管支炎、気管支喘息	
	8		9.循環器疾患 1)心室中隔欠損、ファロー四徴症、乳幼児突然死症候群 10.免疫疾患・膠原病 1)若年性関節リウマチ、川崎病	
	9		11.血液疾患・小児がん 1)貧血、特発性血小板減少性紫斑病、白血病、神経芽細胞種	
	10	小児における主な事例の展開	1. 小児の主な事例の展開 (ネフローゼ症候群)	
	11		1) アセスメントおよび援助の方向性 ① 成長・発達段階の理解と今後の予測 ② 疾患や入院が小児および家族に及ぼす影響	
	12		2) 援助計画 ① 日課や遊びを取り入れた援助 ② 病気の理解と自己管理に向けた援助 ③ 小児および家族への指導(ロールプレイング)	
	13			
	14			
	15			
【授業形態】 小児の疾患と治療: 講義 小児の事例展開 : 講義、グループワーク、演習				
【評価方法】 筆記試験、出席状況、レポート				
【テキスト】 小児の疾患と治療: 小児看護学② メヂカルフレンド社、母性看護学② 医学書院 小児の事例展開: 小児看護学①、② メヂカルフレンド社				